

NEWS 次世代教育研究推進機構 (NGE) シンポジウムを開催しました

2017.3.11



出口学長による挨拶



鈴木大臣補佐官による講演



白井アナリストによる講演

2017年3月11日(土)に、プロジェクトの2年間の研究成果を発表するシンポジウム「21世紀のコンピテンシーを育成するための指導・学習のあり方とは？」を東京国際フォーラム(有楽町)にて開催致しました。

会では、出口利定学長の挨拶に続き、鈴木寛文部科学大臣補佐官と白井俊OECD教育・スキル局アナリスト(現・文部科学省教育課程課教育課程企画室長)にご講演を頂きました。その後、研究成果の報告を行い、概要説明(山田一美教授)、コンピテンシーのとらえ方(関口貴裕准教授)、コンピテンシーの相互分析方法(細川太輔准教授・柄本健太郎講師)、動画配信システムの紹介(宮澤芳光助教)、コンピテンシーの評価方法(杉森伸吉教授・梶井芳明准教授)の順で、授業・学習の分析と評価内容・方法、Webによる授業動画の配信について紹介しました。さらに、実際に授業を実践した教員(上田真也教諭(附属大泉小)・上野佳代教諭(附属小金井中))より、授業実施の効果と問題点、今後に向けた提言などの報告がありました。そして、成果報告を受けて、ディ

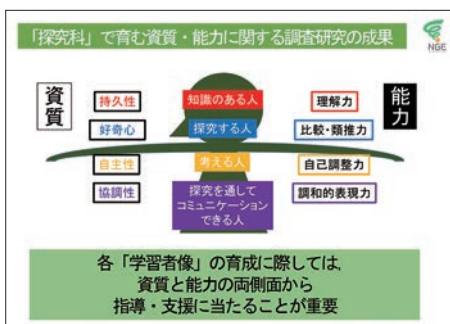
スカッションを行い(司会：関口貴裕准教授、奈須正裕上智大学教授、平本正則横浜市立浦島小学校長、白井俊OECDアナリストと学芸大スタッフ(鎌田正裕教授・林尚准教授)とで、本プロジェクトの成果と21世紀コンピテンシー育成のための指導・学習のあり方について議論を行いました。特に、今回は、コンピテンシー育成に関する11の論点を呈示し議論を展開したため、密度の濃い意見集約であったとの評価を頂きました。最後は松田恵示副学長の挨拶で閉会とし、約300名の出席者が最後まで熱心にご参加くださいました。

アンケートからは、シンポジウム全体を通じて本学の取組への理解と期待を頂くとともに、授業のWeb動画配信システムへの関心の高さを知ることができました。さらに、次回参加の要望を多数いただいたため、早速準備をスタートさせました(2018年3月10日(土)午前中より一橋講堂(竹橋)にて開催予定)。



パネル・ディスカッションの様子

REPORT これからの教育に対応した学習評価法の研究を進めています



探究学習で育成される資質・能力のイメージ図

本プロジェクトの部門2では、次期学習指導要領の学びを念頭にコンピテンシーの育成と評価に関する研究を進めています。

梶井芳明准教授のチームでは、これまでに附属大泉小学校との共同研究により、探究学習で育成される資質・能力とそれらの関係性を、全学年の児童から得られたデータをもとに明確化しました。本年度は、そうした資質・能力の評価法(ルーブリック、学習評価シートの作成等)を提案、実践していく予定です。

森本康彦教授のチームでは、各教科等におけるアクティブ・ラーニングの学びにおいて、どのような学習記録データ(eポートフォリオ)を、ICTを通じてどのように収集したら良いかの指導・評価モデルを作成しました。本年度はそれを実際の授業で検証するとともに、項目反応理論に基づく評価ツールも提案していきます。



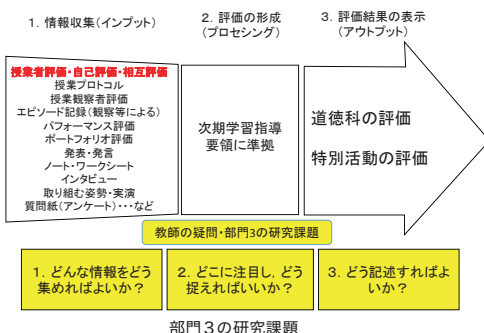
開発中の評価ツールを操作する宮澤助教

REPORT 「特別の教科 道徳」と「特別活動」の評価を検討しています

本プロジェクトの部門3は、学習指導要領改訂後の「特別の教科 道徳」、「特別活動」について、通知表・指導要録での記述評価を教員がスムーズに行うための支援方法を開発しています。両教科等とも評価の難しさや評価への不安が指摘されており、特に道徳の評価は、共感的理解、見守り励ます成長の支援の評価、観点を置かない、個人内評価など、他の教科等と大きく異なる側面があります。

そこで、現在は、まず、両教科等の「テキスト分析による評価語の抽出」を行っています。さまざまな評価語を収集・分析し、評価語がどのような概念や意味範囲を示すものとして使われているのか/使う可能性があるのかを明らかにしていきます。ここまでの分析では、現行の道徳の授業における評価語は、次期の学習指導要領における評価でも参考になることが示されています。

今後は、両教科等について、授業実践状況での具体的な評価内容の分析や、作成された評価語の試行なども行っていきます。そして、最終的には評価語の活用例集としてまとめる予定です。



REPORT 研究授業型動画配信システム (21CoDOMoS) の公開に向けて準備中です

本プロジェクトでは、コンピテンシー育成の実践例の提供方法について検討してきました。一般的な実践例の提供方法としては、本や指導案が公開されています。また、近年では、インターネットを用いた動画配信システムを利用することで、授業中における教師の発問や行動を映像で視聴できます。本プロジェクトでは、動画配信の提供方法について検討し、研究授業のような環境が動画配信システム上に必要ではないかと考えました。

本プロジェクトでは研究授業型動画配信システムを開発し、「21st century COmpetency Development Online MOving-image Service」の頭文字をとって「21CoDOMoS」と名付けました。この研究授業型動画配信システムでは、①教師の指導の様子のみならず、児童・生徒のその状況での様子を視聴できるように、教師を撮影するカメラ、児童生徒を撮影するカメラ、教室全体を撮影するカメラで授業を撮影し、動画配信システムで公開します。②教師が実践した授業の意図を明らかにするため、授業の意図を解説している教師の音声を収録して配信します。③多くの人と授業の検討ができるように、コメントを投稿・閲覧することができます。本システムは、2017年8月頃に配信準備が完了したコンテンツから順次配信予定です。詳細な配信時期とコンテンツについては、教育委員会等から告知予定です。



「21CoDOMoS」のWeb画面

NEWS NHKのニュースウォッチ9にて、プロジェクトの取組が放映されました

2017.1.9



NHKによる取材の様子

昨年(2016年)9月にNHKより附属世田谷中学校での理科の授業実践(高田太樹教諭: 中学1年「いろいろな物質とその性質」と機構メンバーによる授業分析の様子の取材を受けました(2016年10月17日発行のNGE通信にて紹介済)。

そして、2017年1月9日の「ニュースウォッチ9」(NHK総合21時放送)において、プロジェクトの取組が放映されました。放映では、授業とともに、鎌田正裕教授(理科教育)と担当の高田太樹教諭(理科)からの授業に関するコメント、中野幸夫准教授(環境科学)・宮内卓也准教授(教育実践研究支援センター)を交えた授業分析の様子が紹介されました。

NEWS プロジェクトを構成する3つの部門の成果交流会を行いました

2017.2.22

現在、プロジェクトは3つの部門から構成され、部門1は教科等の指導を通じたコンピテンシーの育成研究、部門2は評価方法研究(自己評価、ICT活用評価、パフォーマンス評価など)、部門3は道徳と特別活動の評価研究、を行っています。

2017年2月22日(水)に、これら3つの部門の研究成果を相互に情報交換し、今後の研究展開に活用することを目的とした交流会を本学にて開催しました。会はFD研修の一環と位置づけられ、参加者は約30名でした。発表は、部門1から柄本健太郎講師・細川太輔准教授・藤川和俊研究員による「好奇心」育成過程の分析と授業の効果測定結果について、部門2から森本康彦教授のActive Learningの学習評価のモデル化と梶井芳明准教授による探究学習で育む資質・能力、部門3から林尚准教授(写真)・松尾直博准教授による道徳と特別活動の評価に向けたテキスト分析が報告され、報告内容や今後の展開などについて活発な議論が行われました。



部門間交流会の様子

NEWS CRET/Benesse シンポジウムにて PISA2018 との関係の説明しました

2016.12.15

2016年12月15日に福武ホール(東京大学)にて「CRET/Benesse シンポジウム2016: これからの日本の教育のあり方ーポスト2030を見据えてー」が開催され、PISA2015の結果報告(林寛平信州大学助教授)、Joachim Funke教授(ハイデルベルク大学)によるシステム・コンピテンシーを論題とした基調講演が行われました。その後、パネルディスカッション「これからの資質・能力の育成と評価」にて、白水始教授(東京大学)、Jean-Paul Reeff氏(ドイツ国立国際教育研究機関(DIPF))、岸プロジェクトリーダー、

Patrick Newell氏(TED×TOKYO共同設立者)の4名が加わり、新井健一氏(CRET理事長)の司会進行でそれぞれ報告が行われ、グローバルコンピテンシーの構成要素、PISA2018の展望と構成内容、教育と教員養成のあり方などについて活発な議論がなされました。



プロジェクト紹介の様子

INFORMATION

1 第5回 OECD IWG (Informal Working Group) 会議

日程: 5月16日(火)~18日(木)
会議: ポルトガル(リスボン)

2 OECD/Japan セミナー

日程: 7月1日(土) 会場: 文部科学省3F 講堂

3 生徒国際イノベーションフォーラム2017

日程: 8月2日(水)~4日(金) 会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター
主催: ISN (OECD日本イノベーション教育ネットワーク)

4 第6回 OECD IWG 会議

日程: 11月中旬 会場: パリ

5 第2回 東京学芸大学次世代教育研究推進機構(NGE)シンポジウム

日程: 2018年3月10日(土) 会場: 一橋講堂(地下鉄東西線竹橋)



Gakugei

NGE通信 vol.04

2017年5月17日発行
編集/発行元: 東京学芸大学 次世代教育研究推進機構
東京都小金井市貫井北町 4-1-1 教職大学院棟 1F

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai/>

・記事については、右のリンクまたは下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

Mail: jisedai@u-gakugei.ac.jp Tel: 042-329-7924

